

## エキスパートからの アドバイス

今回、来校した消防署員の方々からの貴重なお話を紹介します。

- 今回は学校のみでの訓練なので、近所の方の協力や、ひがし幼稚園の子供の受けいれなど、地域を巻き込んでの訓練も取り入れてはいかがでしょうか。
  - 事前打ち合わせ等も密にし、遺漏のない連携ができたと思います。
  - コロナで思うような関わりが出来なかつたからか、子供たちに緊張が見られたので、引き続き訓練等で指導を行っていければと思います。また、若い職員にも、指導することの難しさを経験させることができますので、今後ともよろしくお願ひします。
  - 楽しみながら、活発に授業を受けていただき、嬉しく思います。
  - 自分を守る力を身に付けるきっかけとなればと思います。

来月は、火災想定の避難訓練が11日(木)あります。さらに連携を取り合い子供たちの安全を心掛けていきます。

平成29年11月に「入谷つ子少年消防クラブ」が発足してから毎年行われ5回目となります。

『自分の命は自分で守る』という子供たちの防災意識を高めていきます。体験談を交えながら、実際に災害や事故、救急の現場で働いている署員の方の話は大人でも驚かされるエピソードがあり、子供たちにとつて大変勉強となっています。毎回、忙しい中で準備と丁寧な説明や対応をしていただき、感謝しています。



貴重なお話が聞けました

通信

「エーツ、これなーに?」と1年生の声が聞こえます。10月7日(木)3校時に南三陸消防署から4名の消防署員をゲスト・ティーチャーに迎え学年部毎の防災教室が行われました。1年生は校内にある消防施設等を見て回りました。普段目にしても何か分からなかつた表示や施設の説明を真剣に聞いていました。2年生は昨年度の復習として校内防火施設見学と校外にある防火施設の学習を行いました。3・4年生は、消防署の仕事や消防団の役割などの説明を聞き、災害時についての心構えを教えていただきました。5・6年生は災害に遭う前に、自分でできることや家でやるべき備えについて教えていただきました。いろいろなグッズを準備していたとき、災害時に『必要な物は何か?』を選んでみるなど意外なもののが役立つことを知る機会となりました。これらの取組は、



佳 樣

山内久吾 様

1

— 10 —

卷二十一

— 10 —

# 伝統を 繋いで



毛羽取川機工廠を仕上げます



きれいにそろった歯



た時は、「さすが」と周囲の大人も唸らせる技術でした。この繭を山内様に預けて、繭細工ができるよう加工していただきます。

「さあー、毛羽取りだよ。養蚕体験の指導をしていただいてる山内正男様より声を掛けられ4年生の児童が、9月29日(水)の朝に繭の毛羽取り作業を行いました。4年生の子供たちは、9月9日(木)に蚕の幼虫が来てから3週間、餌やりや寝床の掃除などの世話を一生懸命にしてきました。一週間前に上族作業を行つてできた繭から毛羽を取る作業を山内様に教えていただき、きれいな繭玉になりました。」  
動かないと思った毛羽取り機も山内様が身近にあるものを利用して見事に動かした時は、「さすが。」と周囲の大人も唸らせる技術でした。

きれいにできたね